

第2回 花脊別所 里山モニタリング調査 7月

日時：2019年7月8日(月)

場所：京都市左京区 花脊別所

天候：曇り

参加者：noi-Kyoto12名 村田さん家族、菊池さん家族 林業女子会@京都

6月に続けて花脊別所に7月にモニタリングにやってきました。畑は6月のときは草取りをしてもらっていた後なのでスキッとしていましたが、今回は草がぼうぼうに生えていて何が生えているのか分からないぐらいでした。それを2方向から草をかき分けながらイネ科以外の植物を見つけてみんなでメモしていきました。花や蕾、実や種ができていればまだしも、数枚の葉っぱを見てこれは「〇〇〇」と同定していく作業はすさまじいことだなととても感心しました。

谷筋に下りていくときはさすがに覚悟がいましたが、なんとかヒルに好かれることなく上がってくることができてホッとしました。来月はさらにヒルが多いのだろうなと思いながら花脊をあとにしました。

6月に比べると、イネ科の植物が勢力を増している分、他の植物の種類が減っているなと感じました。春のうちに花を咲かせ、種を作って早々に消えていき1年後に備えるという戦略をとる植物がいることが実感できました。(細川 きよし)



オオセンナリ



ミヤマタニソバ

第3回 花脊別所 里山モニタリング調査 8月

日時 2019年8月1日(木)

場所 花脊別所 hanare 近辺

天候 晴れ

参加者 約21名 noi-Kyoto 9名、赤石先生(京都大学)、村田さん(花grikou 耕房)
林業女子会@京都、花脊小学校5年担任、子どもたち

今回は午後からの植生調査の前段に、花脊小学校に通う子どもたちや先生、林業女子会@京都の方とともに田んぼや畦の生きもの観察を行いました。子どもたちは山里に住むだけあって草むらの中や沢水流れる大畦のあたりもおくせずどんどん進んで、カエルやトンボ(キイトンボやシオカラトンボ)、バッタなどを見つけてきます。田んぼの中には無農薬になって間もないので、そん



カエルに夢中

なに変わったものは見当たらないのですがオモダカの白い花やアゼムシロが咲いていたり、コナギ、イボクサなどの蕾が沢山見られました。それをアードコウダと言って観察していると、「いやあ、これ(水田雑草)を増やしたいわけじゃないんですけどね」と田の主(村田さん)が突っ込んでくれました。地域の方に色々教えて貰いながらしておられるみたいです。ちなみに稲は全部手植えだそうです。秋には沢山実るといいですね。

ひとまず、田から戻って拠点の hanare 近くの村田さんの畑にお邪魔します。良さそうなキュウリを1本もぎ取らせて頂きがぶりと口に、キュウリの香りが漂います。子どもたちも大好きな様子であっという間に食べ終わっていました。

暑い日なのに、民家 (hanare) の中は涼しくめいめいが弁当をとり、休息しました。

昼からは組を作ってフィールドの調査です。まずは近くの畑周辺の法面の調査。言ってみると草刈りがされていて何にもない様子。田畑で作物を作る以上は周囲の草は何回と刈られるのは当たり前、逆にこの作業があればこそ高茎草本に覆われず広葉草本が光を受けて育つチャンスを掴むのでしょう。何もないと思っていたのですが、前回藪状で見られなかったところのものや、刈られてすぐに芽ばえたものなど結構な種数を確認出来ました。周辺で刈り残しの草本に、蕾が色づいていました。最初ヒキオコシ sp としていたものですが、明らかにクロバナヒキオコシと同定出来ました。山の尾根と谷の部分も調査しました。実の付き出したものも多く、曖昧な同定も確実なものとしていくことが出来ました。特別のフィールドを持たない noi-

Kyoto にとっては、季節の変遷を追って同じ場所で植生の変化を見られるのは貴重な体験です。また新鮮な体験でもあります。また、地域の人と一緒に調査することで植物の地方名を教えて貰ったり、食べられる植物の話で盛り上がり、春には食してみようとか、人と自然の関わりの話が広がります。まだまだ何をやるのかよくわからない部分がありますが、こんなことを通じながら方向性が見えてくるのではないかと考えています。何だか頼りないようですが、普段の観察会とは少し違ったまったりした空間でもあります。(清)

《畑で見られた植物》アオイスミレ、アカショウマ、アカソ、アキノエノコログサ、アケビ、イタドリ、イヌタデ、イボタノキ、イワガラミ、ウツギ、エノキグサ、オオバギボウシ、オオバチドメグサ、オッタチカタバミ、オトギリソウ、カキドオシ、カラスビシャク、ギシギシ、キツネノボタン、ギボウシ、キリンソウ、クラマゴケ、ゲンノショウコ、ジャゴケ、ショウジョウバカマ、スギナ、ススキ、セリ、ゼンマイ、タチツボスミレ、タチドコロ、タデ sp、タンポポ、チドメグサ、ツタウルシ?、ツボクサ、ツユクサ、トウバナ、トキワハゼ、ノアザミ、ノコンギク、ハキダメギク、ハコベ、ハシカグサ、ヒナタイノコヅチ、ヒメジョオン、フキ、ヘクソカズラ、ヘビイチゴ、ホオズキ、ミゾソバ、ミツバアケビ、ム



子供たちも熱心です



畑ののり面を調査



ヤブデマリ?

ラサキサギゴケ、メヒシバ、ヤブカンゾウ、ヤブヘビイチゴ、ヨツバムグラ、ヨメナ、ヨモギ

《山で見られた植物》アオツツラフジ、アオミズ、アカショウマ、アカソ、アシボソ？、アセビ、アワブキ、イ、イヌタビラコ？、イワガラミ、イワヒメワラビ、ウツギ、ウリハダカエデ、エゴノキ、エノキグサ、オッタチカタバミ、オトギリソウ、カキドオシ、カタバミ、キラソウ、キンミズヒキ、クサギ、クマイチゴ、クリソウ、コアジサイ、コナスビ、コナラ、ゴマギ、サルトリイバラ、サルマメ？、サンショウ、シキミ

シンガシラ、ジシバリ、シラキ、ススキ、ゼンマイ、ダイコンソウ、タチツボスミレ、タデ sp、タニウツギ、タネツケバナ sp、タラノキ、ダンドボロギク、チゴザサ、チドメグサ、ツタ、トウバナ、ドクダミ、ナガバモミジイチゴ、ナワシログミ、ニガナ、ヌスビトハギ、ノブドウ、ヒサカキ、ヒメジョオン、フジ、フユイチゴ、ヘクソカズラ、ヘビイチゴ、ホオノキ、マルバフユイチゴ、ミゾホオズキ、ミツマタ、ミヤマタニソバ、ムラサキシキブ、ヤブマメ、ヤマジノホトトギス、ユズリハ、ヨウシュヤマゴボウ、ヨツバムグラ？、ウワバミソウ、オオカメノキ、オオチドメ、カナクキノキ、カラマツ、キタヤマブシ、コウヤノマンネングサ、コシアブラ、シナノキ、チドリノキ、トウゲシバ、トキワハゼ、ハシカグサ、フタバムグラ sp、フタリスズカ、ボタンネコノメソウ、マムシグサ sp、マンネンスギ、ミズタビラコ、ミズナラ、ミヤマカタバミ、モミ、ヤブデマリ



山の調査



ゲンノショウコ



オモダカ (田んぼ)



タチドコロ雌花



アカショウマ



ノブドウ (街道沿い)



ボタンヅル (街道沿い)